

再質問では、流下能力が低い箇所は、蓋かけという選択だけでなく、違う工法で整備(一例を紹介すると、ある程度の大きさの管を入れて、その水路を埋め、その水路の上部を歩道として活用)した方が費用的にも安価で済む場合もあり、今後検討してほしいと要望を含め提言しました。

市職員の研修について

Q 今後、さらに地方分権が進めば、各自治体の職員が自らの頭で考え、それぞれ自治体独自の政策立案が出来る職員像が求められてくることは必須です。

それに対応する職員の研修体制の更なる充実が必要だと思いますが、市のお考えを伺います。

A 地方分権一括法の施行以降、地方自治体が地域社会の発展に果たす役割が拡大するとともに、自己決定・自己責任が強く求められています。

このようなことから市職員には、市の置かれている現状を把握しておくことはもちろんのこと市民ニーズを的確に把握し、これらを総合的に分析、勘案しながら具現化することが求められています。

こうしたことから、本市では、八潮市人材育成基本方針において職員に必要な能力の1つとして「政策形成能力」を掲げています。

研修内容については必要に応じて見直ししながら更なる拡充を図ってまいりたいと思います。

●和宏の考え・意見

今後、本市でも団塊の世代と呼ばれる世代の大量退職が進みます。

(平成22年↓27人・23年↓34人・24年↓19人・25年↓54人・26年↓34人)

この数字は現在の職員数(664人)の約25%が定年退職となり、今後、技術の継承や、職員の新たな能力の開発が必要な時代となります。

また、政府の分権改革委員会が今秋に

提出予定の「第三次勧告」で「条例の上書き」について明記される予定と聞いており、この点からも職員の条例制定能力の向上も推進する必要があります、今後更なる研修の充実、そして研修で学んだ方の能力が活かせる職場環境を作っていたり、よう要望しました。

(紙面上、質問の内容を割愛してありますのでご了承下さい)

詳しくは議会のホームページを参照してください。

傍聴 うおちんぐ!!



○2期目の最後の質問!お疲れ様でした。

私は朝田さんが議員となって最初の質問も聞きましたが、8年でかなり成長したのかなあと感じる質問でした。

時には悔しい思いをした時もあったと思いますが、市民は、あなたの活動・言動をしつかり評価していると思います。

是非、次の選挙でも、上位当選目指して、これから八潮のために頑張れ!

○選挙の為前倒しで行われた9月議会が終わりました。一問一答式が導入され、朝田議員のように執行部側に鋭い質問をされている姿を拝見していると自分自身も吸い込まれる感じで質問・答弁トータルでの時間は非常に短く感じました。

しかしそこは朝田議員。深くそして細かい質問を持ち時間カウントOできっかり終了。思わず傍聴席から拍手したくなりました。全般的に傍聴してみても議会に

緊張感をもっていい仕事をしてもらうためにたくさんの方の市民の参加が必要だとしみじみ感じた議会でした。12月議会は新メンバー加わっているかな…

さて9月6日は八潮市議会議員選挙の投票日。棄権をせずに貴重な一票を行使しましょう。

選挙は八潮を変えそして市政を変える第1歩です



多くの方が傍聴されありがとうございました。



「学校給食の改善を求める請願書」について

残念ながら…一部採択!!

今回、約2,700名の署名と共に請願が提出されました。総務文教常任委員会で審議されましたが、請願項目1「民間委託の見直し」について賛同が出来ないという議論が一部であり、結果的にこの項目は採択されませんでした。

反対の立場の方の意見も理解出来ますが、私は、この請願の一番重要な項目が「民間委託の見直し」だと考えています。これは何も、「今すぐ業者を変更してほしい」という意味でなく、約30年間・同一業者との業務委託というケースは他市でも稀なケースであり、その点を検証する必要があると私は考えます。

皆さんのお子さんやお孫さんからの、本市の給食の感想はどうでしょうか?

是非、ご意見をお寄せください。

請願を採択に賛成・・・市民と市政をつなぐ会、共産党、民主市民クラブ
一部採択に賛成・・・自民クラブ・公明党